

モニタリング結果報告書 (令和6年度)

1. 施設概要

施設名	城ヶ島公園		
所在地	三浦市三崎町城ヶ島		
サイトURL	https://jogashima-park.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和33年12月）		
指定管理者名	三浦市観光協会・湯山造園土木・京浜急行電鉄グループ		
指定期間	R4.4.1 ～ R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
利用状況がB評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がS評価となったため、3項目評価はA評価となった。 目標値は達成できなかったものの、インバウンド等の影響もあり、利用者は増加傾向である。城ヶ島公園の魅力である豊かな自然環境を適切に管理することで来園者の満足度が向上した。また、直営と委託作業を適切に使い分け、樹木や施設の維持管理を行うなど、良好な運営状況であった。今後も、クロマツや芝生の適切な植物管理や公園の魅力を伝えるイベントの実施、各メディアを活用した多様な広報活動を継続するとともに、更なる利用拡大への取組が望まれる。 <各項目の詳細説明> ◆管理運営等の状況 城ヶ島公園では、風致公園として良好な園内環境を保つ取組を実施しており、提案どおりの管理運営状況にある。 維持管理に関しては、公園の魅力となるクロマツやスイセンの生育状況を踏まえた管理により、公園の魅力向上に取り組むとともに、園内施設の計画的な点検・補修を行い、来園者が安全で快適に利用できる環境づくりに取り組んでいる。 利用促進に関しては、講師の都合により中止した一部イベントを除き、当初計画していた公園の魅力を伝えるイベントを開催することができた他、SNSを活用して公園を紹介するといった広報活動に取り組んでいる。 地域連携の取組に関しては、みうら観光ボランティアガイド協会のガイドによる毎週末の公園案内サービスや、三浦市観光協会の会員が地域で生産された農水産物等の販売を行うなど、地域と連携した公園づくりへの取組が行われている。 ◆利用状況 利用促進のためのイベントは、講師の都合により中止した一部イベントを除き、当初計画していた公園の魅力を伝えるイベントを開催することができた。インバウンド等の影響もあり、観光客の割合が多くなり、利用者数は対前年度比で108.2%と増加したが、目標達成率では98.6%に留まったため、B評価となった。今後、広報の多様化やイベントの質的向上等、利用者数の拡大に向けた更なる工夫が望まれる。 ◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が98.3%と高い評価を得たため、S評価となった。 ◆収支状況 駐車場収入の増加や、光熱水費の節減などの工夫により、収支比率は122%となったため、S評価となった。 ◆苦情・要望等 各苦情・要望等に対して、適切に対応した。 ◆事故・不祥事等 なし ◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の 満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	S	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2ヵ月に1回程度	「月例報告の確認」に併せて適宜現地に赴き、施設の管理運営状況の実態を確認。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	年に1回程度	県と指定管理者との間で連絡協議会を開催し、施設の管理運営上の課題等について、意見交換や情報共有等を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・ ☒ 無	指導・改善勧告等の内容

5. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持管理 (1) 植物管理 公園内の景観を特徴付けているマツの生育状況に配慮した維持管理を行う。 (2) 清掃 トイレや水飲み場、園路及び広場等の主要施設の清掃及び衛生管理の徹底を図る。 (3) 保守点検 ・ 日常的な施設点検を徹底し、常に施設全体の長期的な使用を図るよう努める。 ・ 巡視により補修が必要な箇所が確認された場合、県と指定管理者の業務区分に準じて適切な対応を図る。	(1) ・ クロマツの育成状況に合わせたみどり摘みや剪定を実施するとともに、薬剤注入やこも巻きなどを行い、マツ枯れの未然防止に取り組んだ。さらに、団体利用が多い芝生についても、利用状況を踏まえた管理を行った。 ・ 公園の魅力のひとつである八重水仙の植付けや管理を行うとともに、海浜植物の手入れを行った。 (2) ・ 毎朝、園内巡視と併せた清掃を行うとともに、定期的なトイレや水飲み場の清掃を行い、利用者が快適に使用できるよう努めた。 (3) ・ トイレや照明設備等古い施設が多く、修理が必要な場合は県と協議する中で、修理可能な場合は、可能な限り、指定管理者が直営で修理を行った。	公園の特徴であるマツ等について、計画的に適切な維持管理を行い、保全する取組を実施している。今後も継続して取り組まれることを期待する。
利用促進のための取組 (1) 利用促進のためのイベントの開催 ・ 地元園児による「朝顔植え」「七夕まつり」「水仙まつり」「ウミウ観察会」を行う。 ・ 関係機関が実施する観光キャンペーンに参加し、県内外で公園のPRを行う。 (2) 利用促進のための広報、PR活動 ・ 公園内の恵まれた観光資源など様々な情報を三浦市観光協会のホームページ、SNSなどでリアルタイムに発信するとともに、マスコミの取材など積極的に対応し、より多くの公園利用者増加に努める。	(1) ・ 例年実施している「七夕まつり（参加者14名）」「水仙まつり（参加者3,010名）」「城ヶ島砲台地下壕探索（参加者30名）」などのイベントが実施できた。 ・ 「ウミウ観察会」は、講師都合により中止となった。 (2) ・ ホームページやSNSにより水仙の開花情報等を発信するとともに、マスコミの取材や問い合わせにも対応した。	公園の特色を生かしたイベントを積極的に開催し、利用促進の取組を行っており、今後も継続して取り組まれることを期待する。
地域と連携した魅力ある施設づくり (1) ボランティア団体等との連携、協働及び育成 ・ 「みうら観光ボランティアガイド協会」との共同により、三浦市域を中心とする貴重な自然、歴史、文化遺産等を広く観光客に紹介する。 ・ ボランティア団体等が開催するスカベンジ（清掃活動）などに協力・連携する。	(1) ・ 「みうら観光ボランティアガイド協会」による公園案内をはじめ、団体客の案内を行い、公園のPRを行った。 ・ ボランティアサークルの清掃活動に参加し、公園だけでなく城ヶ島全体の清掃美化に協力した。	地元団体と連携し、イベントの実施等を行うことで、利用促進に貢献した。また、地域の清掃活動に参加することで、地域住民との連携強化等に取り組んだ。今後も継続して取り組まれることを期待する。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等

6. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	361,300	364,570	394,590
対前年度比		100.9%	108.2%
目標値	320,000	360,000	400,000
目標達成率	112.9%	101.3%	98.6%

目標値の設定根拠：事業計画書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）：駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

＜備考＞
インバウンド等の影響もあり、観光客の割合が多くなり、利用者数は対前年度比で108.2%と増加したが、目標達成率では98.6%に留まったため、B評価となった。

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施。	年2回実施した詳細アンケートの結果を使用する。

〔 サービス内容の総合的評価 〕

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 60 / 60 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	51	8	0	1	0	60	・いつもキレイで気持ちが良い。
回答率	85.0%	13.3%	0.0%	1.7%	0.0%		
前年度の回答数	54	5	1	0	0	60	
前年度回答率	90.0%	8.3%	1.7%				
回答率の 対前年度比	94.4%	160.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備 考>

利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が98.3%と高い評価を得たため、S評価となった。

8. 収支状況

評価	《評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設》 収入合計／支出合計の比率が、S（優良）：105%以上　A（良好）：100%～105%未満 B（概ね計画どおりの収支状況である）：85%～100%未満　C（収支比率に15%を超えるマイナスが生じている）：85%未満
S	

〔 指定管理業務 〕 (単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	23,351	0	24,145	駐車場：22,040 自販機：2,105	47,496	47,496	0	
	決算	23,351	0	30,249	駐車場：27,482 自販機：2,767	53,600	48,376	5,224	110.80%
前年度	当初予算	23,656	0	25,296	駐車場：23,086 自販機：2,210	48,952	48,952	0	
	決算	23,656	0	33,639	駐車場：30,861 自販機：2,778	57,295	48,845	8,450	117.30%
令和6年度	当初予算	23,843	0	30,330	駐車場：28,015 自販機：2,315	54,173	54,173	0	
	決算	23,843	0	39,467	駐車場：36,461 自販機：3,006	63,310	51,886	11,424	122.02%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)		
令和6年度 /	前年度 /	前々年度 /

＜備考＞ 駐車場収入の増加や、光熱水費の節減などの工夫により、収支比率は122%となったため、S評価となった。
--

9. 苦情・要望等 ☐ 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	アンケート	4 件	駐車場スタッフから、閉門間際の来園を断られた。	指定管理者（本部）から駐車場スタッフに対して、閉門時間前の入場を断らないよう指導・徹底を行うと共に、駐車場スタッフの勤務時間を延長する勤務形態に変更した。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 ☒ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。